



納入仕様書

納入先：
品名： 機器用ビニル線（充実型） 0.5mm²
SKVS

仕様書番号： 技仕666D-13

年 月 日 発行

品川電線株式会社



変更履歴

	年月日	見直し・変更内容	変更理由	課長	担当
制定	1971. 5. 29	新規制定		長田	陸
改版	1975. 10. 3	導体外径変更	納入仕様書標準化	長田	陸
改版	1988. 5. 20	線心数を2~5心から2~8心まで拡大し、より合わせピッチを30D' から20D' に変更 介在型を削除し、充実型のみとする。	納入仕様書標準化	長田	宮田
改版	1990. 11. 21	表示事項変更(～ ｷｷｯ PVC 製造年 → ～ SKVS 製造年)	納入仕様書標準化	長田	宮田
確認	1993. 11. 21	仕様内容の確認	見直し周期による	長田	中野
確認	1996. 11. 21	仕様内容の確認	見直し周期による	陸	中野
改版	2002. 1. 7	1. 適用範囲に被覆物に鉛化合物及を含有していない旨を追記 4. 表示に LF を追加	適用範囲変更及び表示にLFの追加は、被覆物に鉛化合物を含まないことの明確化のため	陸	中野
改版	2005. 10. 31	様式変更(変更履歴を表紙から本文1ページに移行、特性及び試験方法追加)	納入仕様書標準化		



仕様書番号：技仕 666D-13

機器用ビニル線（充実型）
S K V S

1. 適用範囲

この仕様書は、100V未満の電気機器の内部配線等に用いられる、ビニル絶縁ビニルシース充実型の機器用ビニル線（以下、電線という。）について規定する。

尚、この電線は電気用品安全法の適用外とし、被覆物には、鉛化合物を含まないものとする。

備考：この仕様書の引用規格を次ぎに示す。

JIS C 3102 電気用軟銅線

JIS C 3306 ビニルコード

2. 材料，構造及び加工方法

電線の材料，構造及び加工方法は，付表及び次の各項による。

- 1) 導体 導体は，JIS C 3102に規定された軟銅線をより合わせたものとする。
- 2) 絶縁体 絶縁体は，1)の導体上に付表に示す厚さのビニルを導体と同心円状に被覆するものとする。絶縁体の平均厚さは，付表の値の90%以上とし，測定値の最小厚さは，付表の値の80%以上とする。
- 3) 線心の識別 線心の識別は，絶縁体の色により行い，付図の通りとする。
- 4) 線心より合わせ 線心より合わせは，線心所要数を必要により適当な介在物とともに層心径の20倍以下のピッチで左に円形により合わせる。
- 5) シース シースは，線心より合わせ上に隙間を埋めるように付表に示す厚さのビニルを被覆するものとする。シースの平均厚さは，付表の値の90%以上とし，測定値の最小厚さは，付表の値の70%以上とする。

3. 特性及び試験方法

特性及び試験方法は，JIS C 3306のVCTFに準ずるものとする。ただし，電気特性は，付表によるものとする。

4. 荷造り

電線は，一条ずつ把巻きとし，運搬中損傷しないように適当な荷造りをする。
一条の標準条長は，200mとする。

5. 表示

シース上に，容易に消えない方法で次の事項の連続印刷を施すものとする。

Ⓢ SHINAGAWA DENSEN SKVS 0.5mm² 製造年(西暦) LF

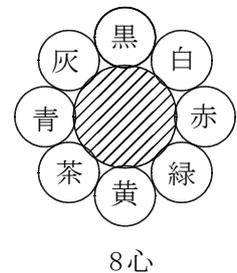
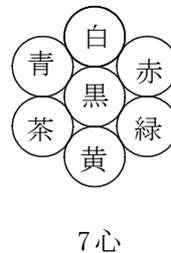
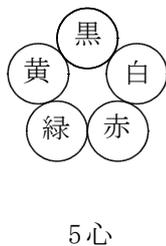
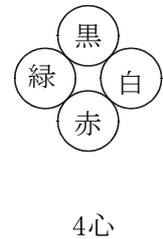
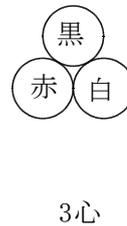
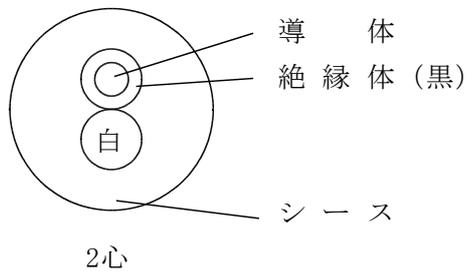
注). LF は，被覆物に鉛化合物が含有していない旨の表示。



付 表 S K V S

線 心 数	導 体			ビニル 絶縁体 厚 さ	よ り 合 わ せ 外 径	ビニル シ ー ス 厚 さ	仕 上 外 径	導 体 抵 抗 (20℃)	絶 縁 抵 抗 (20℃)	試 験 電 圧
	公 称 断 面 積	構 成	外 径							
心	mm ²	素線数/素線径mm	mm	mm	約mm	mm	約mm	Ω/km	MΩ km	V/min
2	0.5	20/0.18	0.9	0.6	4.2	1.0	6.2	37.8	5 以上	AC 1000
3							6.5			
4							7.1			
5							7.7			
6							8.3			
7							8.3			
8							9.6			

付 図



注). 円内の色は、絶縁体の色を示し、⊗は介在物を示す。